

ソーシャルインパクトボンドの手法を活用したコミュニティビジネススタートアップ支援（滋賀県東近江市）

取組概要

東近江市では、ソーシャルインパクトボンド(SIB)の手法を活用し、地域の困りごとの解決や地域資源を生かした商品開発などにビジネスの手法(地域でお金がまわる仕組み)で取り組もうとする事業者や団体の初期の資金確保を応援している。

取組の効果

2事業を支援し、コミュニティビジネスの展開を通じて、耕作放棄地の有効活用や地域の人材育成、地域雇用ができた。また、地域課題の共有と成果の見える化ができた。

創意・工夫した点

従来の補助事業にSIBの手法を活用し、市民からの出資により事業資金を募り、非資金的支援ができる仕組みを構築した。

他団体へのアドバイス

SIBの仕組みは、行政コストの削減だけでなく地域課題の解決に対する市民参画を得ることができ、有効な手法である。

人口 114,604人 (H30.1.1現在)

担当 総務部まちづくり協働課



東近江市版SIB事業の仕組み



市の花ムラサキを活用し製造されたコスメ